

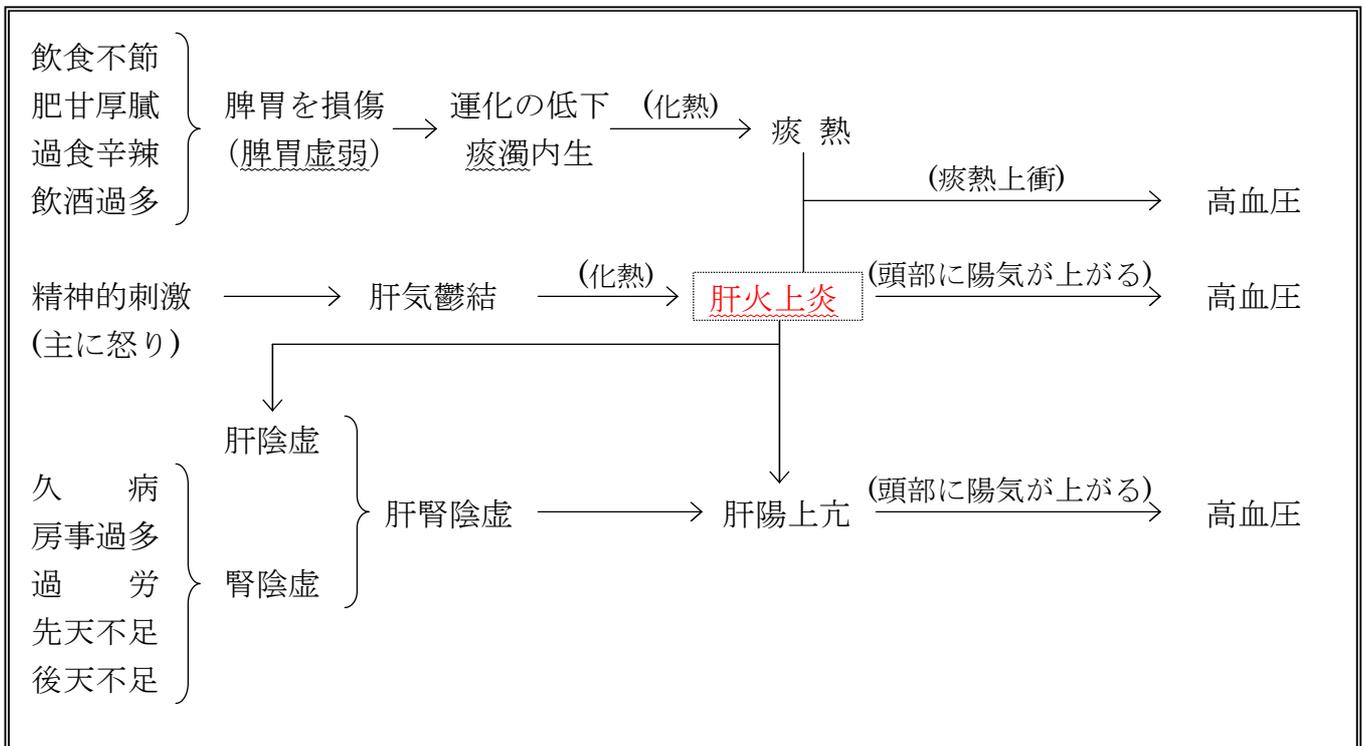
## 第21講 『高血圧症』『低血圧症』

### 第1節 『高血圧症』

: 血圧という概念が東洋医学にはなかったため『高血圧症』は一般的に『頭痛』『眩暈』『肝風』の症状の一部として考えられている。

【分類】 { 実証 : 肝火、痰濁  
虚証 : 無し  
虚实挟雑証 : 陰虚陽亢 (肝陽上亢)

#### 【病因病機】



#### 【症状と処方例】

##### 1. 肝火 (肝火上炎)

【症状】 高血圧、眩暈、ひどければ頭・目がまわりひどく張るように痛む。情志の失調 (怒り) により誘発あるいは悪化。顔面紅潮、イライラして怒り易い、便秘、尿赤、口苦。舌紅苔黄、脈弦。

## [処方例]

	経絡	意義	取穴部位
風池	胆経	清肝瀉火	乳様突起下端と瘻門穴の中間、後髪際陥凹部
太衝	肝経		足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
太陽	奇穴		眉毛の外端と外眼角との中央から後ろ1寸の陥凹部

## 2. 痰濁

[症状] 高血圧、めまい、頭重感。胸悶、食欲不振、悪心、不眠、心悸。舌苔厚膩、脈滑または濡。

## [処方例]

	経絡	意義	取穴部位
風池	胆経	祛痰開竅 清肝瀉火	乳様突起下端と瘻門穴の中間、後髪際陥凹部
豊隆	胃経		外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部
足三里	胃経		膝をたて、外膝眼穴の下3寸
太衝	肝経		足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部

## 3. 肝陽上亢

[症状] 高血圧、めまい、頭痛、耳鳴り。腰のだるさ、健忘、不眠、五心煩熱。舌質紅、苔少、脈弦細数。

## [処方例]

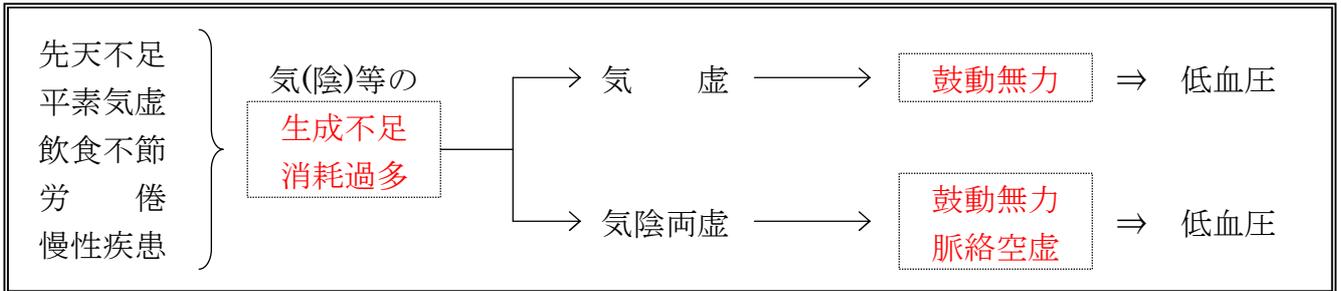
	経絡	意義	取穴部位
風池	胆経	滋陰潜陽 (滋補肝腎)	乳様突起下端と瘻門穴の中間で、後髪際陥凹部
曲池	大腸経		肘窩横紋の外端で、上腕骨外側上顆の前
内関	心包経		大陵穴から曲沢穴に向かい上2寸
三陰交	脾経		内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際
風池	腎経		内果とアキレス腱の間陥凹部、動脈拍動部

## 第2節 『低血圧症』

: 『眩暈』『虚勞』『暈厥』などに含まれる内容である。

【分類】・・・虚証：気虚、気陰両虚

【病因病機】



【症状と処方例】

### 1. 気虚

[症状] 低血圧、めまい。息切れ、話すのがおっくう、無力感、顔色は白く艶がない、自汗。舌質淡、苔薄、脈沈遅。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
百会	督脈	提昇陽気	前髪際をること5寸、正中線上に取る
脾俞	膀胱経	益気昇圧	第11・12胸椎棘突起間の外1寸5分にとる
腎俞	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分にとる
関元	任脈		神闕穴の下3寸にとる
足三里	胃経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸にとる

### 2. 気陰両虚

[症状] 低血圧、めまい。精神疲労、無力感、五心煩熱、口乾、心悸、息切れ、不眠。舌紅苔少脈細数。

## [処方例]

	経絡	意義	取穴部位
脾 兪	膀胱経	益気養陰昇圧 (養血)	第11・12胸椎棘突起間の外1寸5分
腎 兪	膀胱経		第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分
足三里	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸
太 谿	腎 経		内果とアキレス腱の間陥凹部、動脈拍動部
三陰交	脾 経		内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際